

平成28年度むらの高等支援学校教育自己診断結果

2016. 12. 26

(む)

		回答数 59											回答数 53											回答数 37											
		生徒					保護者					教職員																							
		①	②	③	④	無回答	肯定	否定	肯定	否定	無回答	肯定	否定	肯定	否定	無回答	肯定	否定	肯定	否定	無回答														
1	学校生活	学年 生指	1	学校へ行くのが楽しい。	19	23	13	4	0	71.2%	28.8%	85.6%	14.4%	1	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	20	25	8	0	0	84.9%	15.1%	88.2%	11.8%	1								82.9%	17.1%	
			2	学校祭・校外学習・宿泊研修などの行事は、楽しい。	36	17	5	1	0	89.8%	10.2%			2	学校祭や校外学習・宿泊研修などの学校行事は、参加しやすいよう工夫されている。	26	22	5	0	0	90.6%	9.4%			2	学校祭・校外学習・宿泊研修などの学校行事は、生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫を行っている。	23	10	4	0	0	89.2%	10.8%		
			3	委員会活動や生徒会行事(七夕まつりや生徒会選挙など)の生徒会活動に参加している。	35	16	6	2	0	86.4%	13.6%			3	生徒会活動は活発である。	13	32	8	0	0	84.9%	15.1%			3	生徒会の運営と活動が自主的にできるよう、生徒会役員への適切な支援が行われている。	18	14	5	0	0	86.5%	13.5%		
			4	部活動に参加している。	48	8	1	2	0	94.9%	5.1%			4	子どもは、積極的に部活動に参加している。	31	18	1	3	0	92.5%	7.5%			4	生徒の望む部活動ができる教員体制を組んでいる。	14	13	9	1	0	73.0%	27.0%		
5	授業	管理 支援	5	授業は、わかりやすく、楽しい。	21	24	11	3	0	76.3%	23.7%	77.7%	22.0%	5	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	10	33	9	1	0	81.1%	18.9%	88.4%	11.6%	5	教員の間で授業方法等について情報交換や検討する機会を持っている。	8	19	8	1	1	73.0%	27.8%	82.0%	15.8%
			6	授業で実習・作業などの時間がたくさんある。	29	19	9	2	0	81.4%	18.6%			6	授業で実習・作業などの時間がたくさんある。	30	22	1	0	0	98.1%	1.9%			6	就労を通じた社会自立をめざし、職場実習や、学科・職業共通での作業実習が系統的・計画的に教育活動に組み込まれている。	20	11	5	1	0	83.8%	16.2%		
			7	授業で、自分の考えをまとめたり、発表することが多い。	18	19	20	2	0	62.7%	37.3%			7	教育活動において、話し合いや発表等の子どもたちの言語活動の充実を努めている。	16	35	2	0	0	96.2%	3.8%			7	授業等に生徒の言語活動を適切に位置付け、授業構成や指導の在り方を工夫改善するよう努めている。	11	19	6	0	1	81.1%	19.4%		
			8	授業の内容や教え方など、くふうしている先生が多い。	29	21	7	2	0	84.7%	15.3%			8	授業の内容や教え方など工夫をしている先生が多い。	9	37	6	1	0	86.8%	13.2%			8	生徒の特性や実態をふまへ、指導内容や指導方法の工夫・改善を行っている。	11	22	3	0	1	89.2%	11.1%		
			9	授業では、おもしろかったり、好きなものがある。	29	22	6	2	0	86.4%	13.6%			9	子どもが興味・関心を持てる教科、科目がある。	20	26	7	0	0	86.8%	13.2%			9										
			10	授業がわからない時には、少ない人数で教えてもらったり、ゆっくり丁寧に教えてもらえる。	26	19	9	4	1	77.6%	22.4%			10	子どもの学習状況によってグループ別の指導や、課題の難易度を変えての指導の工夫がされている。	14	33	6	0	0	88.7%	11.3%			10	生徒の学習到達度に応じて学習形態の工夫・改善を行っている。	7	22	7	0	1	78.4%	22.2%		
11	「情報」の授業以外でコンピューターやiPadを使う授業がある。	26	19	9	5	0	76.3%	23.7%			11	コンピューター等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。	10	33	9	1	0	81.1%	18.9%			11	コンピューター等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。	8	24	4	0	1	86.5%	13.9%					
12	進路	進路	12	将来の進路や生き方について考える時間がある。	27	18	12	1	1	77.6%	22.4%	72.0%	27.5%	12	学校は子どもが自らの進路について考える機会を与えている。	23	22	8	0	0	84.9%	15.1%	85.4%	14.6%	12	生徒が将来の進路や生き方について考える機会を多く設けている。	9	18	8	1	1	73.0%	27.8%	78.4%	19.6%
			13	【追加項目】先生は、将来の進路や職業について自分にあったアドバイスをくれる。	25	22	10	2	0	79.7%	20.3%			13	学校は将来の進路や職業について適切な指導を行っている。	25	18	9	1	0	81.1%	18.9%			13	生徒一人一人が興味・関心、適性に応じて進路選択が出来るよう、きめ細かい指導を行っている。	11	13	10	2	1	64.9%	36.1%		
			14	先生は、「進路学習」や「進路便り」で職場実習や進路に関する色々な情報を知らせてくれる。	26	21	11	1	0	79.7%	20.3%			14	学校は「説明会」「進路便り」などを通じて、進路関係の教育情報について知らせてくれる。	27	21	4	1	0	90.6%	9.4%			14	学校は「説明会」「進路便り」などを通じて、進路について提供の努力をしている。	14	19	3	0	1	89.2%	11.1%		
			15	先生以外の外部の方から、進路に関する話をきく機会がある。	17	14	16	12	0	52.5%	47.5%			15	「講演会」「施設見学会」などを通じて福祉・労働機関等の関係機関の情報も学校から入手できる。	18	27	8	0	0	84.9%	15.1%			15	進路指導において「講演会」「施設見学会」などの依頼や定例会議をもつなど福祉・労働機関等の関係諸機関との緊密な連携が出来る。	12	20	5	0	0	86.5%	13.5%		
16	ついでに	学年 生指 保安	16	先生は、障がいのあることも含めて、自分のことをよく理解してくれている。	21	20	13	5	0	69.5%	30.5%	75.5%	24.0%	16	教職員は、子どもの障がいを理解している。	22	22	7	2	0	83.0%	17.0%	83.8%	15.9%	16	個々の生徒の障がい特性に対応した教育活動を行うために、自身の専門性を高めている。	6	17	13	1	0	62.2%	37.8%	76.2%	22.7%
			17	先生は、みんなの意見をきいてくれる。	25	23	6	4	1	82.8%	17.2%			17	教職員は子どもの意見をよくきいている。	19	25	9	0	0	83.0%	17.0%			17	教職員は生徒の意見をよくきいている。	12	16	8	1	0	75.7%	24.3%		
			18	なんでも相談できる担任の先生がいる。	24	19	9	7	0	72.9%	27.1%			18	子どもがなんでも相談できる担任の先生がいる。	12	30	10	1	0	79.2%	20.8%			18	いつでもカウンセリングマインドをもって生徒の相談に快く応じている。	11	21	4	0	1	86.5%	13.9%		
			19	担任の先生以外に保健室や相談室等で気軽に相談できる先生がいる。	20	17	15	7	0	62.7%	37.3%			19	子どもは学級担任以外の教職員とも相談することができる。	9	30	13	1	0	73.6%	26.4%			19	生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	15	14	7	0	1	78.4%	22.2%		
			20	学校生活についての先生の指導は「正しい」と納得できる。	22	21	11	5	0	72.9%	27.1%			20	学校の生徒指導の方針に共感できる	18	25	7	2	1	82.7%	17.3%			20	この学校では卒業後の社会自立を念頭にいた「生活指導・生徒指導」を行っている。	17	12	7	1	0	78.4%	21.6%		
			21	先生は学校の決まりや約束ごとを守っている。	26	22	8	2	1	82.8%	17.2%			21	教職員は学校の決まりや約束ごとを守っている。	24	24	4	1	0	90.6%	9.4%			21										
22	先生は責任をもって授業やクラス担任のほか、クラブ指導なども一生懸命指導してくれる。	32	20	5	2	0	88.1%	11.9%			22	教職員は責任をもって授業や担任業務、クラブ指導などの仕事にもあたっている。	25	26	2	0	0	96.2%	3.8%			22													
23	人権 いじめ	学年 生指 支援	23	命の大切さや人権の大切さについて学ぶ機会がある。	28	17	11	3	0	76.3%	23.7%	77.5%	22.0%	23	学校は、子どもの発達段階や実態に応じて生命を大切にすることや人権を尊重する態度を育てようとしている。	23	26	4	0	0	92.5%	7.5%	90.1%	9.4%	23	教育活動において、生徒が命の大切さや人権尊重の態度を身につけるよう配慮している。	9	19	8	1	0	75.7%	24.3%	81.1%	18.2%
			24	先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	25	19	10	5	0	74.6%	25.4%			24	教職員は、いじめのない学習集団づくりに取り組んでいる。	24	25	3	1	0	92.5%	7.5%			24	【追加項目】いじめを許さないという方針を生徒や保護者に発信し、またその心配がないか組織として見守り、適切な指導をしている。	17	15	4	1	0	86.5%	13.5%		
			25	先生は私たちが大切にしている。	25	21	9	3	1	79.3%	20.7%			25	教職員は、すべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。	20	26	6	1	0	86.8%	13.2%			25	生徒の人権を尊重して日常の教育活動を行っている。	15	18	3	1	0	89.2%	10.8%		
			26	人権学習に取り組む時間がある。	29	19	10	1	0	81.4%	18.6%			26	学校は計画的に人権に関する学習に取り組んでいる。	13	34	5	0	1	90.4%	9.6%			26	生徒や地域の実態に基づいた人権教育の重点課題を毎年設定し、系統的・計画的に人権学習に取り組んでいる。	7	20	8	1	1	73.0%	27.8%		
27	社会のルールについて学ぶ機会がある。	30	19	7	3	0	83.1%	16.9%	83.1%	16.9%	27	学校は社会のルールを守る態度を養おうとしている。	33	19	1	0	0	98.1%	1.9%	98.1%	1.9%	27	社会のルールを守る態度を教育活動全体を通じて育成している。	19	15	3	0	0	91.9%	8.1%	91.9%	8.1%			

平成28年度むらの高等支援学校教育自己診断結果

2016. 12. 26

(む)

		回答数 59											回答数 53											回答数 37												
		生徒					保護者					教職員																								
		①	②	③	④	無回答	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定												
28	性教育	学年保安	28	性に学習があり、わかりやすく役に立つ内容である。	25	20	9	5	0	76.3%	23.7%	76.3%	23.7%	28	性に関する指導は、段階を追って計画的に実施されている。	9	23	15	3	3	64.0%	36.0%	60.4%	34.0%	28	性に関する指導は、系統的・計画的に行われている。	4	21	8	3	1	67.6%	29.7%	67.6%	29.7%	
29			29											29	個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成に際して、本人・保護者のニーズを伝える機会がある。	32	21	0	0	0	100%	0.0%	98.1%	1.3%	29	個別の教育支援計画・個別の指導計画について、本人・保護者面談などで確認したニーズに踏まえ作成している。	8	24	4	0	1	86.5%	13.9%	74.3%	23.0%	
30			30	学校は個別の指導計画・教育支援計画の目標や手立て等について、説明をしている。	29	21	2	0	1	96.2%	3.8%			30	個別の教育支援計画・個別の指導計画について、面談などを通して保護者に開示し説明している。	21	12	2	1	1	89.2%	11.1%			30	個別の教育支援計画・個別の指導計画について、面談などを通して保護者に開示し説明している。	21	12	2	1	1	89.2%	11.1%			
31			31	個別の指導計画・教育支援計画について、内容・評価を確認する機会が設定されている。	34	19	0	0	0	100%	0.0%			31	個別の指導計画について、教職員間で共通理解を図り、活用している。	6	20	10	0	1	70.3%	30.6%			31	個別の指導計画について、教職員間で共通理解を図り、活用している。	6	20	10	0	1	70.3%	30.6%			
32			32												32											32	個別の教育支援計画・個別の指導計画の内容については、生徒の特性や実態に合うように教職員間で協議する機会がある。	3	24	8	1	1	73.0%	27.8%		
33			33												33											33	個別の教育支援計画については、前年度(前籍校)までの内容を引き継ぎ反映した上で作成、活用している。	6	20	10	0	1	70.3%	30.6%		
34			34												34											34	自立活動の指導にあたっては、生徒が興味をもって主体的に取り組めるように工夫している。	5	16	13	2	1	56.8%	44.4%		
35	評価	学年支援	35	先生は、努力や取組みの姿勢なども評価としてみている。	24	27	8	0	0	86.4%	13.6%	82.2%	17.8%	35	教職員は、子どもの学習状況や努力を適切・公平に評価している。	26	23	4	0	0	92.5%	7.5%	91.5%	8.5%	35	評価のあり方について話し合う機会がある。	8	14	12	2	1	59.5%	41.7%	71.6%	25.7%	
36			36	通知表の「学習の評価」については、自分は「その通りだ」となっとできる。	29	17	8	5	0	78.0%	22.0%			36	通知表は、子どもの学習の達成度を適切に評価できるように工夫されている。	25	23	5	0	0	90.6%	9.4%			36	個別の指導計画ならびに個別の教育支援計画と教育課程、通知表等との関連を明確化している。	13	18	4	1	1	83.8%	16.7%			
37	教育相談	生指学年保安	37										37	学校は、子どものことについて保護者の悩みや相談に適切に応じてくれる。	22	27	4	0	0	92.5%	7.5%	88.7%	11.3%	37	学校は、いつでもカウンセリングマインドをもって保護者の相談に快く応じている。	12	20	5	0	0	86.5%	13.5%	85.1%	13.5%		
38			38	子どもの心身の健康や障がいの状況について、気軽に学校に相談できる。	23	22	8	0	0	84.9%	15.1%			38	保護者は希望すれば学級担任はもとより、他の教職員や専門家とも相談できる体制が学校にある。	16	15	3	2	1	83.8%	16.7%			38	保護者は希望すれば学級担任はもとより、他の教職員や専門家とも相談できる体制が学校にある。	16	15	3	2	1	83.8%	16.7%			
39	設備	管理学年事務	39	学校で使う道具や器具が壊れたときは、すぐに修理したり取り替えてくれる。	23	21	11	3	1	75.9%	24.1%	83.1%	16.1%	39	学校は、施設・設備の点検、事故防止に配慮している。	31	20	2	0	0	96.2%	3.8%	94.3%	5.7%	39	施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。	23	11	2	0	1	91.9%	8.3%	89.2%	9.5%	
40			40	教室や特別教室・体育館などは授業がしやすいように整備されている。	38	16	4	1	0	91.5%	8.5%			40	学校の施設・設備は学習環境面で満足できる。	27	22	3	1	0	92.5%	7.5%			40	この学校では生徒の生活の場として、教育環境が整備されている。	15	17	3	2	0	86.5%	13.5%			
41	環境	管理保安	41										41											41	各教科の備品や教材教具が適切に配置され、活用されている。	4	13	12	8	0	45.9%	54.1%	67.6%	32.4%		
42			42											42											42	清掃活動(清掃指導)がいきとどいている。	17	16	2	2	0	89.2%	10.8%			
43	危機管理	管理生指保安	43								89.8%	10.2%	43												43	学校の諸活動において安全指導が徹底している。	16	15	4	2	0	83.8%	16.2%	84.5%	15.5%	
44			44											44											44	学校教育のあらゆる場を通じて防災教育を行っている。	10	22	5	0	0	86.5%	13.5%			
45			45											45	学校では、子どもに関するプライバシーが守られている。	32	19	0	2	0	96.2%	3.8%			45	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	15	17	2	3	0	86.5%	13.5%			
46			46	地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいかを、わかりやすく知らされている。	30	23	5	1	0	89.8%	10.2%			46	学校からは、地震や台風などの場合の対応について、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。	29	19	4	0	1	92.3%	7.7%			46	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対応ができるよう、役割分担が明確化されている。	10	20	7	0	0	81.1%	18.9%			
47	コミュニケーション	学年管理職首席	47										47	学校は、保護者のニーズを踏まえた教育活動に取り組んでいる。	10	37	5	1	0	88.7%	11.3%	89.1%	9.8%	47	学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いによく応えている。	12	18	7	0	0	81.1%	18.9%	88.6%	10.8%		
48			48										48	学習の内容・学校生活の様子を懇談や定期的な学年通信によって、知ることができる。	26	23	4	0	0	92.5%	7.5%			48	保護者には学習の内容・学校生活の様子を懇談や定期的な学年通信によって発信している。	20	15	1	0	1	94.6%	5.6%				
49			49											49	教職員が連携しており、PTA活動に参加しやすい。	19	24	9	1	0	81.1%	18.9%			49	教職員はPTA活動に協力・参加している。	6	23	8	0	0	78.4%	21.6%			
50			50											50	学校とは、電話や連絡帳によって子どもの日々の様子を連絡しあっている。	24	23	3	1	2	92.2%	7.8%			50	生活指導等において電話や連絡帳を活用して家庭との連携ができています。	22	14	1	0	0	97.3%	2.7%			
51			51											51	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	35	15	2	0	1	96.2%	3.8%			51	なるべく多くの保護者が学校の授業参観や学校行事に参加できるように工夫している。	21	13	3	0	0	91.9%	8.1%			

平成28年度むらの高等支援学校教育自己診断結果

2016. 12. 26

(む)

回答数 59											回答数 53											回答数 37													
生徒											保護者											教職員													
①	②	③	④	無回答	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	肯定	否定					
52	52	保護者や他の先生が授業を見学に来る。	32	13	10	4	0	76.3%	23.7%	70.1%	29.9%	52	52	学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている。	45	8	0	0	0	100%	0.0%	88.7%	10.6%	52	52	学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。	24	11	1	0	1	94.6%	5.6%	88.6%	10.3%
53	53											53	53	学校が保護者に出す文書・事務連絡等は、わかりやすい。	23	26	4	0	0	92.5%	7.5%			53	53	保護者に出す文書・事務連絡等は保護者がわかりやすいように工夫している。	15	18	4	0	0	89.2%	10.8%		
54	54	学校にホームページがあることを知っている。	36	7	7	9	0	72.9%	27.1%			54	54	情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている。	16	21	13	2	1	71.2%	28.8%			54	54	情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている。	14	16	5	1	1	81.1%	19.4%		
55	55											55	55	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	19	31	3	0	0	94.3%	5.7%			55	55	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	15	19	3	0	0	91.9%	8.1%		
56	56	近くの学校や、学校の近所に住んでいる人々との交流の機会がある。	18	18	16	7	0	61.0%	39.0%			56	56	学校は、保護者や学校近隣の地域の人たちと接し、意見を聞く機会を持っている。	22	24	5	1	1	88.5%	11.5%			56	56	保護者や学校近隣の地域の人々と接し、意見をきく機会を持っている。	10	22	5	0	0	86.5%	13.5%		
57	57	他の支援学校や高等学校の生徒と交流する機会がある。	30	12	9	7	1	72.4%	27.6%	71.2%	27.1%	57	57	学校は、子どもが他の支援学校や高等学校の子どもたちと交流する機会を設けている。	15	30	5	2	1	84.9%	13.2%	84.9%	13.2%	57	57	近隣の支援学校や高等学校との連携の機会を設け、教育活動全般に生かしている。	8	18	10	1	0	70.3%	29.7%	68.9%	31.1%
58	58											58	58											58	58	各分掌や学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。	11	14	10	2	0	67.6%	32.4%		
59	59											59	59											59	59	職員会議・学年会が、教職等の会議が教職員間の意思疎通や意見交換の場として有効に機能している。	13	15	8	1	0	75.7%	24.3%	76.8%	21.6%
60	60											60	60											60	60	年間の学習指導計画について、教育課程委員会、学年、教科、学科でよく話し合っている。	6	22	5	3	1	75.7%	25.0%		
61	61											61	61											61	61	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。	9	14	9	4	1	62.2%	38.9%		
62	62											62	62											62	62	この職場においては教職員の服務規律への自覚が高い。	17	14	5	1	0	83.8%	16.2%		
63	63											63	63											63	63	教職員は、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	10	22	4	0	1	86.5%	13.9%		
64	64											64	64											64	64	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	18	13	4	1	1	83.8%	16.7%	69.8%	28.8%
65	65											65	65											65	65	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。	14	16	6	1	0	81.1%	18.9%		
66	66											66	66											66	66	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。	7	12	13	5	0	51.4%	48.6%		
67	67											67	67											67	67	この学校では、府教育センター等が主催する研修に計画的に参加する体制が整っている。	9	19	7	2	0	75.7%	24.3%		
68	68											68	68											68	68	研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。	4	18	12	2	1	59.5%	41.7%		
69	69											69	69											69	69	生活指導において、関係諸機関と緊密な連携ができています。	7	18	9	2	1	67.6%	33.3%		
70	70											70	70											70	70	教育課程の編成に当たって、学習指導要領の趣旨が生かされている。	10	18	7	1	1	75.7%	25.0%	72.4%	25.4%
71	71											71	71											71	71	学校予算は一定のルールに基づき、適切に編成・執行されている。	4	20	11	1	1	64.9%	36.1%		
72	72											72	72											72	72	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	8	13	12	3	1	56.8%	44.4%		
73	73											73	73											73	73	校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。	20	12	4	1	0	86.5%	13.5%		
74	74											74	74											74	74	中期的(3か年)な目標を踏まえ課題を明確にした「学校経営計画」を策定し、PDCAサイクルによる学校経営を推進している。	11	18	7	0	1	78.4%	22.2%		
75	75											75	75											75	75	公文書の收受、発送、保管に対する管理がなされている。	17	18	2	0	0	94.6%	5.4%	91.9%	8.1%
76	76											76	76											76	76	学校から保護者等にあてて公文書を発行するに当たって、校長が決裁するシステムが整っている。	24	11	2	0	0	94.6%	5.4%		
77	77											77	77											77	77	指導要録等の記入・点検が年度内に適正に行われている。	17	15	5	0	0	86.5%	13.5%		